

大規模な病院の役割とは



先進的な設備や技術を駆使し、 専門性の高い医療を手掛ける

市内にはベッド数が200床以上ある大規模な病院が62カ所あります。これらの病院は、高度な治療ができる設備が整っており、専門性の高い治療を行っています。
そうした病院が担う役割や地域の医療機関との連携について、市立札幌病院の医師に聞きました。

―大規模な病院はどのような医療を担っているのですか？

一般的に大規模な病院には複数の診療科があり、各科の専門医が、最先端の技術と機器を駆使して、病状の重い患者さんの治療を行っています。

―具体的に市立札幌病院が行う医療とは？

病気を併発する方の治療を各科が連携して行っているほか、生死を争う患者さんを受け入れる「救命救急センター」、低出生体重児などを治療する「総合周産期母子医療センター」など専門的な施設も整えています。民間の病院では採算面などから提供が難しいとされる医療を積極的に担うことが、当病院の特徴です。
―地域のかかりつけ医とは役割が違うんですね。

日常の診察はかかりつけ医、専門的な治療が必要と診断さ



せき とし もり
関 利盛さん
市立札幌病院副院長。地域の医療機関と市立札幌病院をつなぐ「地域連携センター」の責任者も兼務し、病院・診療所間の連携の強化に取り組む。

れば大規模な病院を受診してもらおうという役割分担を進めています。例えば、がんを発症した場合、手術は大規模な病院で行いますが、症状安定後はかかりつけ医で経過を観察します。治療内容などは共有しており、急変したときでも、すぐに受け入れることができます。患者さんにとっては、2人の医師が見守ることになるため、安心感を持つてもらえると思いますね。

―今後、大規模な病院が目指す医療の在り方とは？

大規模な病院は専門的な医療を提供できますが、全ての患者さんの経過を見守り続けることはできません。だからこそ、地域の医療機関などと連携を強めることが大切です。患者さんが心の底から安心できる、切れ目のない医療を目指していきます。

地域全体で患者を支える 体制づくりを進めます

1つの病院だけで1人の患者の診断から治療、経過観察まで全てを担うことは困難です。かかりつけ医、大規模な病院、リハビリ施設など各機関が持つ役割や機能を生かし、地域全体で患者を見守る医療体制の確立を目指します。

